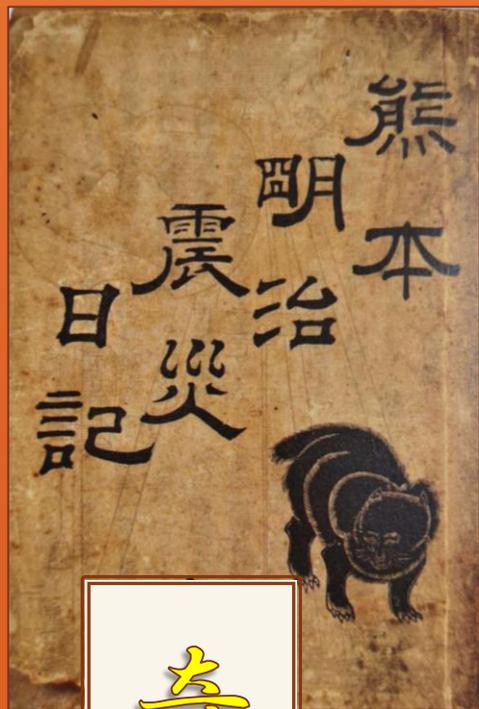


～特別企画 平成28年熊本地震から10年～

熊本明治震災日記・水島貫之著



地震のあつと傘屋ももうかる!?

奇談語り

原作・植木英貴

飽託郡高橋町字端家屋崩壊之圖

日時：令和8年(2026年)4月19日(日)

13:30～15:00

場所：熊本洋学校教師ジェーンズ邸

観覧料：無料(別途入館料が必要)

備考：事前申し込みは不要です

※専用駐車場はございませんので近隣の民間有料駐車場、もしくは公共交通機関をご利用ください。

(※身障者用駐車場の利用をご希望の方は事前に御連絡ください)



すさき あい
語り：寿咲 亜似

明治熊本地震について

明治熊本地震は今から137年前、明治22年に熊本で発生し、大きな被害をもたらしました。震源は金峰山の東側とされ、現在の震度では震度6弱、また震度6強だったと言われています。被害も大きく、当時の震災被害記録には熊本市と近隣の飽田郡や託麻郡など8郡を合わせ死者21人、負傷者も59人とあり、家の全壊、半壊も極めて多く、橋梁の損壊なども多数発生しました。

当時の熊本市は人口4万3千人でしたが、この地震で様々な流言浮言が流れ、多くの市民がそれに翻弄され、街は混乱をきたしていきました。

「平成28年熊本地震」から10年。大地震の記憶を風化させないためにも、今回は第一部で「平成28年熊本地震」による熊本市記念館の被害と復興状況を、そして第二部で水島貫之の著した『熊本明治震災日記』に残る奇談の物語を寿咲亜似さんに語っていただきます。

「平成28年熊本地震」本震直後の倒壊したジェーンズ邸



語り:寿咲亜似

「肥後の歴史物語と民話の会」、
「語り座」代表 語り師、司会者。
熊本弁による民話と標準語による
熊本の歴史上の人物を主人公にし
た物語を創作し、語っている。

箏:藤川いずみ

箏ソリストとして国内
外で演奏。
くまもと邦楽会館代表



〈内 容〉

第一部：熊本市記念館の地震被害からの復興について

第二部：『熊本明治震災日記』奇談語り

語り：寿咲 亜似（すさき あい）

箏演奏：藤川 いずみ

原作：植木 英貴

熊本洋学校教師ジェーンズ邸

熊本市中央区水前寺公園12-10

TEL 096-382-6076

開館時間 9:30~16:30

休館日 月曜日(祝日は翌日)

